

「定時に帰りたい」新入社員 42.0%

トーマツインベーション株式会社は毎年、新入社員のキャリアに対する意識について調査を行なっている。その今年度分の結果から、キャリアに対する意識の変化をみていこう。

今の会社で働きたい

—53.8%

勤続意向について、「できれば今の会社で働きたい」は53.8%で、3年連続の減少。2015年の63.4%と比較すると10ポイント近く低下している。新入社員研修の段階でも、入社した会社で働きたいことのモチベーションは高くないようだ。

また、今後3年間の働き方について聞いたところ、「定時に帰りたい」が42.0%。4年連続増加し、「週に2～3回の残業まで」をはじめて上回った。一方で、「仕事・成長のためにできるだけたくさん働きたい」は21.2%から12.8%まで減っている。

こうした意識が主流であれば、「若いころの苦労は買ってでもしろ」といった発想でマネジメントしようとする、簡単に離職につながりそうだ。調査結果をふまえて、同社は新入社員に長く勤めて活躍してもらうには、次の2点が重要だと分析している。

- ① 仕事の醍醐味を伝えて自社で働き続けることの魅力を感じてもらう
- ② ワークライフバランスを保てる職場環境をつくりつつ、生産性を高める必要性を理解してもらう

そのために、どういうタイミングでどのくらいの負荷をかければ成長につながるのか、仕事の任せ方について再検討する必要があると思う。(編集部)▲

今後3年間の会社での労働時間について、あなたの考えをお伝えください

